熊歯会報

Kumashi Kaihou

2012
10
October
No.678

熊本県歯科医師会

熊歯会報 10月号

2012

ー表紙に寄せてー

毎年10月第一週目の土、日曜に行われるみずあかり。竹の中に浮かぶろうそくの火が幻想的でその先に見える熊本城もいつもとひと味違ってみえます。 (A.S)

歯科医師の倫理綱領

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

巻頭言（監事　西野　隆一）…… 3

理事会…… 4・5

臨時代議員会 …… 6～13

臨時総会 …… 14

委員会だより …… 15～17
（医療対策、社保、総務・厚生）

学術レポート …… 18～20

郡市会だより
（宇土、荒尾、人吉、熊本、天草、八代）…… 21～24

つどい …… 25

新入会員…… 26・27

グルメハンター …… 27

会務報告 …… 28～30

社団法人　日本歯科医師会

現況監査報告？

噴煙

監事　西野　隆一

現執行部役員の先生方のそれぞれの所管の中での毎日の献身的な御努力には、本当に頭が下がる思いです。その中でも特筆すべき事は、県議団への働きかけや県庁行政との折衝力です。それにより一昨年の「熊本県歯及び口腔の健康づくり推進条例」の制定や天草で実施された早産予防事業への歯科の介入、その成果により年間2,000万円の県の予算がついた全県下での同事業が行われるようになった事などです。また、ここ数年徐々にというより大幅に減らされていた口腔保健センターへの県と市からの活動助成でありましたが、今回の同センターの整備刷新に、県より1,500万円、熊本市より250万円の補助を引き出したということは、本当にすごい事です。

本日、それぞれ活発に活動されている委員会の中で特に会員の皆様にお伝えしたいのが宮坂副会長所管で、大林理事の学校歯科と田上理事の地域保健、松岡常務理事の所管で松本理事のセンター・介護であります。これらの部門は、学術や社保、医療対策、広報活動の様に、会員の皆様の目や耳に届きにくい活動です。そして、これらの委員会活動は、今まで行政や他の団体からの補助や理解がなかなか得られませんでした。それでも、一昨年より徐々にではありますが、良い方向に向かって動き出していた学校歯科のフッ化物洗口の事業ですが、根拠のない声高の反対意見に対して、本当に辛抱強く立ち向かっている状況です。また、地域保健も熊本県糖尿病対策推進会議や糖尿病予防対策事業の中で、歯科の立ち位置を確保し糖尿病対策を切り口とした歯科や行政との連携を構築され、歯科の重要性を発信し続けていますが本会会員の皆様とは、いささか温度差を感じます。そして、センター・介護も本会の県民への直接的な公益事業の柱として、センター整備の刷新に伴いさらなる活動の活性化と充実に努力されていますが、会員の皆様は、どれだけ御存知でしょうか？これらの事業は、各委員会の努力だけでは早晩廃れてしまいます。本会も一所懸命に情報の発信に努めているようですが、結局の所、会員の皆様がその内容を聞いて、読んで、それぞれの活動に協力して頂かなければ何にもなりません。

以上、まるで執行部への応援演説になってしまいましたが、日頃、代議員会と総会の時間以外、会員の皆様と接することが少ない監事からの、本会事業活動の現況報告と会員の皆様へのお願いといたします。

理事会報告

一般社団法人への道筋が完成

― 第６回理事会 ―

９月26日（水）午後７時より県歯会館第１会議室において浦田会長他全役員出席のもと議長を浦田会長、議事録署名人を冨屋理事、大林理事として第６回理事会が開催された。

開　会：小島副会長
挨　拶：浦田会長

９月15日の臨時代議員会、臨時総会において、定款、選挙規則等の一般社団法人移行に伴う関係諸規則の改正が承認されたことにより、先般熊本県へ申請書を提出しました。これにより、一般社団法人への道筋ができあがりました。今後は認可を待つということになりますが、その他の諸規則についても今年度中に整備する必要がありますので、理事の先生方によるご協力を引き続き宜しくお願い致します。さて、10月に入り、九州歯科医学大会の開催も間近となりました。この歯科医学大会につきましては、本日の理事会終了後に実行委員会を開催いたしますので、最後の詰めの作業をどうぞ宜しくお願い致します。

今年も残すところ３ヶ月となりましたが、学会を皮切りに11月の全国学校歯科医協議会等、大きな行事が続きます。気を引き締めて会務に取り組んで参りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

報　告

総　　務：第５回理事会、第11回・12回常務理事会、第２回選挙管理委員会、県教育庁との懇談会、くま歯キャラバン隊（荒尾市・上益城郡・下益城郡）、宇治壽康先生追悼のひと時、臨時代議員会・臨時総会、中規模県歯科医師会連合会会議、都道府県会長会議、警察歯科医会全国大会意見交換会、日歯歯科保健医療に関する情報戦略ワーキング部会

学　　術：九州各県学術担当者会、DVDセミナー会員発表の役割分担

社会保険：ニューフェイス社会保険研修会、レセプト事前チェックセンター、社会保険個別相談、社会保険講演会、個別指導

地域保健：子育てすくすくこども博2012、県糖尿病対策推進会議実務研修会、全国健康保険協会熊本支部健康づくり推進協議会

広　　報：「熊歯会報」９月号・校正、「熊歯会報」10月号編集

学校歯科：全国学校歯科医協議会シンポジウム打合せ会

医療対策：各郡市医療相談担当者会

センター・介護：障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業ワーキング委員会、口腔保健センターカルテ・会計チェック、口腔保健センター設備整備打ち合わせ、県介護支援専門員更新研修、熊日新聞社との打ち合わせ、口腔保健センター従事者医療対策研修会

総務・厚生：健康診断（山鹿市、阿蘇郡市、水俣・芦北郡市、天草郡市、人吉市、熊本市・上益城郡）

学　　院：学院体験入学、学院実務指導担当歯科衛生士研修会、学院特別研修

国　　保：九歯連役員会、全協九州支部幹事会、全協九州支部総会・役職員研修会、全協職員研修会

以上、８月21日から９月23日までの総務、

各委員会他の動きについて、浦田会長及び担当各役員より報告がなされた。

報　告その２

１．退会会員

・故　緒方　健一　会員（一般会員／荒尾市）
　平成24年８月26日ご逝去

・故　鈴木　　梓　会員（終身会員／熊本市）
　平成24年９月１日ご逝去

２．表彰

渡辺専務理事
厚生労働大臣表彰
水野　完治　会員（熊本市）
表彰式：第33回全国歯科保健大会
平成24年10月27日（土）開催地：青森県

３．天皇の伝統を守る会への賛同と委員就任依頼

委員就任依頼については、県医師会・県薬剤師が回答を保留するとのことであったため、三師会で足並みを揃えた対応をすることとし、本会においても回答を保留する旨の報告がなされた。

４．熊本県日中協会創立40周年記念式典への発起人就任依頼

同協会の記念式典の発起人について、就任を承諾し発起人に名を連ねる旨の報告がなされた。

５．関係機関・団体からの役員等の推薦依頼

・熊本県在宅医療連携体制検討協議会委員／県健康福祉部
　松岡　拓治　常務理事
　任期：承諾の日～平成25年３月31日

・熊本県における医療費の見通しに関する計画検討委員会委員／県健康福祉部
　勇　　励　常務理事
　任期：承諾の日～平成25年３月31日

６．名義後援使用依頼

・部落差別をはじめあらゆる差別をなくす第41回熊本県人権教育研究大会／県人権教育研究協議会

・黄色い羽根募金運動／県腎移植者の会、県角膜・腎臓バンク協会

・歯の健康ランド／新樹会　日時：平成24年10月28日（日）　場所：熊本市動植物園

７．熊本市中央消防署による立入検査結果

県歯会館並びに学院施設について、熊本市中央消防署による立ち入り検査がおこなわれ、その結果報告がなされた。また、併せて、学院施設において改善指摘のあった２項目について、改善計画書を提出した旨の報告がなされた。

８．熊本県体育協会からの免税募集支援依頼

例年通り、10万円を助成している旨の報告がなされた。

９．平成２４年度シニア倶楽部社会保険研修会

９月29日（土）午後3時より、ホテル日航熊本において開催される旨の報告がなされた。

10．平成２４年度シニア倶楽部の運営

９月29日（土）午後５時より、ホテル日航熊本において開催される旨の報告がなされた。

11．九州私立保育園研究大会熊本大会への広告掲載内容

広告掲載内容について、当初想定していたカラー掲載ではなく、モノクロ掲載になることから、キャッチフレーズである「笑顔はお口の健康から」の文字を見やすくすることとした旨の報告がなされた。なお、今後の修正等については広報委員会に一任することとした。

12．会計８月末現況

13．10月行事予定

14．その他

・九州厚生局との打ち合わせ報告(前田理事)
・医療基本法に対する見解（浦田会長）

協　議

１．新入会員の承認（承認）

一般会員２名の入会を承認した。

２．「九州」「中国・四国」地区役員連絡協議会の提出協議題（承認）

協議事項については９月末日までに専務理事に連絡することとした。

３．向精神薬の取扱い（承認）

熊本県薬務衛生課より向精神薬の取り扱いについて周知依頼があったことについて、全会員へ周知文書を送付するとともに、各郡市会長宛の文書には、県内における向精神薬の取り扱い件数を追記し送付することとした。

４．救急薬品販売の通知（承認）

原案通り承認し、販売についての通知文書を全会員へ送付することとした。

５．その他

監事講評：片山監事、西野監事
閉　会：宮坂副会長

（広報　加藤　久雄）

臨時代議員会

様々な事業の周知と御協力を

日　時　９月15日（土）午後２時
場　所　熊本県歯科医師会館４階ホール
１．開会　　副会長　小島博文
２．議事録署名人指名
　井尾　治雄議員（熊本市）
　神山　久志議員（山鹿市）
３．物故会員に対する黙祷
　宇治　壽康会員（熊本市）
　志賀　矩雄会員（熊本市）
　緒方　健一会員（荒尾市）
　鈴木　　梓会員（熊本市）
４．浦田会長挨拶

日歯代議員会の報告では、平成23年度における医療費の伸びは2.6％であり、歯科医療費が２兆７千億円程になり一昨年の２兆５千億円から初めて７千億円台になった。医療費の構成比によると22年度は7.1％であったが23年度は7.0％に下がっている。理由としては薬剤費の上昇による。また歯科医療費の高齢者における歯科治療の伸びが顕著である。日歯が唱える「生きる力を支える生活の医療」を今後も推し進めていきたいとのことであった。

本県においては障がい者の歯科治療に大きな役割をはたしてきた口腔保健センターの設備整備費として県より1500万円、市より250万円の補助金予算が承認され安心して治療が行える環境が整いつつあります。８月より始まりました早産予防等の妊婦健診事業においても２年間の予算がつきました。周知しご協力をお願いしたい。糖尿病連携事業に続きがん患者に対する医科歯科連携事業が始まります。講習会の受講後協力医となり拠点病院からの患者の術前・術中・術後ケアを行う事業である。引き続きご協力をお願いしたい。災害対策として災害時医療対策計画に歯科も参加の要望を出しており、早期に小中大規模災害時におけるマニュアルの作成に取り掛かりたいと思っている。また日歯を含めて避難所でのサポート、支援活動の聞き取り調査を基に郡市会を中心に県歯がサポートする態勢を整えていきたい。

本日は決算に関する議案を承認いただく臨時代議員会であると共に法人改革の重要案件がありますので慎重審議をお願いしたい。

５．平成24年度熊本県学校保健功労表彰

熊本県教育庁審議員兼教育指導局体育保健課　平田浩一課長補佐をお迎えし平田審議員より表彰状が授与され、受彰者を代表し神山久志会員（山鹿市）より謝辞その後平田審議員の挨拶。

平田浩一課長補佐

表彰者は後述

６．報告
　１）会務報告　専務理事　渡辺賢治

神山会員の謝辞

2）会計報告　常務理事　八木義博
3）監査報告　監　　事　片山公則
4）日歯代議員会報告
　　日歯代議員　小島博文
5）有限会社ケイ・デー・エム・ユー報告
　　代表取締役　中嶋敬介

7．議事

第１号議案　平成23年度一般会計熊本県歯科医師会会計収入支出決算（案）の承認を求める件
第２号議案　平成23年度特別会計収入支出決算（案）の承認を求める件
第３号議案　熊本県歯科医師会口腔保健センター償却資産積立金取崩しの承認を求める件
第４号議案　平成24年度熊本県歯科医師会会計収入支出補正予算書（案）の承認を求める件
第５号議案　一般社団法人移行に伴う熊本県歯科医師会定款改正（案）の承認を求める件
第６号議案　一般社団法人移行に伴う関係諸規則改正（案）の承認を求める件
第７号議案　日本歯科医師会選挙人及び補欠選挙人の承認を認める件

以上、第１号議案から第７号議案まで全て承認可決された。

第４号議案について

質問
高田博樹議員（八代市）
事業における共通科目に入るものは何か？
執行部
該当する科目はない。

第５号議案について

質問
秋山喬議員（球磨郡）

増員する代議員選任時期をお知らせ下さい。
執行部
６月末まで１名で、それ以降に選任する。

質問
森口茂樹議員（天草郡市）

定款改正後の臨時代議員会の開催時期はいつか？
執行部
新年度前の３月になる。（従来通り）

質問
森義和議員（宇土郡市）

定款改正案での議決について確認したい。
執行部
総代議員の過半数以上出席の上３分の２以上の賛成が必要。

事前質問

質問
谷口守昭議員（熊本市）
災害時の被災歯科医院の確認及び対応は？
執行部
災害時の対応システム・マニュアルを現在作成中。

質問
谷口議員（熊本市）
医療苦情の当事者間の話し合いで委員会の同席は可能か。
執行部
会館に於いて委員が面談に立ち会う。

8．協議

1）時局対策について
執行部
がん患者の術前後治療の医科歯科連携のモデル事業に向けマニュアル作成中である。順次開催される講習会の受講により連携事業の口腔機能の登録歯科医（希望者）となり拠点病院からのがん患者の術前・術中・術後ケアを行う事になる。ご協力をお願いしたい。

9．閉会
副会長　中嶋敬介

（広報　立本　尚史・宮田　正孝）

第４号議案

平成24年度　熊本県歯科医師会会計収支補正予算書（案）

平成24年４月１日から平成25年３月31日まで

（単位：円）

科　目	実施事業					
	学術講演・研修事業	地域保健事業	歯科衛生士の育成事業	社会的弱者支援事業	共通	小計
Ⅰ　一般正味財産増減の部						
１．経常増減の部						
(1)　経常収益						
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	1,611,000	0	0	0	1,611,000
受取入会金	0	0	0	0	0	0
事業収益						
指定管理受託料	0	0	0	0	0	0
事業収益	0	0	0	0	0	0
学生生徒納付金収入	0	0	94,400,000	0	0	94,400,000
手数料収入	0	0	675,000	0	0	675,000
医業収入	0	0	0	16,333,000	0	16,333,000
受取補助金等						
受取国庫補助金	0	0	0	0	0	0
受取県市補助金	0	0	0	0	0	0
その他補助金	80,000	50,000	0	1,000	0	131,000
受取負担金	210,000	0	0	0	0	210,000
雑収益						
受取利息	1,000	110,000	32,000	1,000	0	144,000
広告費収入	0	241,000	0	0	0	241,000
校舎使用料収入	0	0	0	0	0	0
雑収入	0	71,000	112,000	221,000	0	404,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0
他会計からの繰入金収入	8,940,000	29,896,000	4,065,000	22,815,000	0	65,716,000
経常収益計	9,231,000	31,979,000	99,284,000	39,371,000	0	179,865,000
(2)　経常費用						
事業費						
役員報酬	1,613,000	3,145,000	1,560,000	1,081,000	0	7,399,000
給与手当	7,106,000	9,217,000	47,587,000	16,461,000	0	80,371,000
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	305,000	386,000	1,708,000	251,000	0	2,650,000
賞与引当金繰入額	0	0	25,000	3,000	0	28,000
法定福利費	0	0	5,300,000	574,000	0	5,874,000
福利厚生費	1,315,000	1,661,000	913,000	304,000	0	4,193,000
教育費	0	0	19,588,000	0	0	19,588,000
診療原価	0	0	0	1,943,000	0	1,943,000
研修費	1,396,000	963,000	0	0	0	2,359,000
広告宣伝費	320,000	1,156,000	0	20,000	0	1,496,000
会議費	5,187,000	5,615,000	3,022,000	1,055,000	0	14,879,000
旅費交通費	3,821,000	5,879,000	3,569,000	603,000	0	13,872,000
通信運搬費	340,000	255,000	1,140,000	116,000	0	1,851,000
減価償却費	0	0	2,811,000	350,000	0	3,161,000
消耗品費	417,000	1,261,000	5,665,000	593,000	0	7,936,000
修繕費	0	0	20,000	234,000	0	254,000
印刷製本費	2,480,000	3,704,000	2,122,000	0	0	8,306,000
燃料費	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	1,290,000	0	1,290,000
賃借料	621,000	137,000	600,000	0	0	1,358,000
保険料	0	0	0	30,000	0	30,000
諸謝金	800,000	541,000	0	0	0	1,341,000
租税公課	0	0	0	0	0	0
支払負担金	510,000	21,730,000	1,878,000	70,000	0	24,188,000
支払助成金	550,000	8,210,000	0	0	0	8,760,000
支払寄付金	0	0	0	0	0	0
委託費	1,000,000	1,041,000	800,000	996,000	0	3,837,000
渉外費	2,121,000	2,187,000	390,000	40,000	0	4,738,000
雑費	882,000	517,000	3,322,000	156,000	0	4,877,000
収益負担分	△509,000	△667,000	0	0	0	△1,176,000
事業費計	30,275,000	66,938,000	102,020,000	26,170,000	0	225,403,000
管理費						
役員報酬	0	0	0	0	0	0
給与手当	0	0	0	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	0
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0
研修費	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0	0
燃料費	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	0	0	0	0
支払助成金	0	0	0	0	0	0
支払寄付金	0	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0
収益負担分	0	0	0	0	0	0
管理費計	0	0	0	0	0	0
他会計への繰出金支出	0	0	1,000	1,000	0	2,000
経常費用計	30,275,000	66,938,000	102,021,000	26,171,000	0	225,405,000
当期経常増減額	△21,044,000	△34,959,000	△2,737,000	13,200,000	0	△45,540,000

注）紙面の都合上、議案を入れ替えました。ご了承下さい。

（単位：円）

収益事業(販売収入・保険手数料等)	その他事業 福利厚生事業	その他事業 共通	小計	法人会計	内部取引消去	合　計
0	0	0	0	26,000		26,000
0	0	0	0	115,893,000		117,504,000
0	0	0	0	2,010,000		2,010,000
0	0	0	0	0		0
7,815,000	40,970,000	0	48,785,000	0		48,785,000
0	0	0	0	0		94,400,000
16,081,000	0	0	16,081,000	0		16,756,000
0	0	0	0	0		16,333,000
3,500,000	0	0	3,500,000	3,805,000		7,305,000
0	0	0	0	41,737,000		41,737,000
16,000	5,100,000	0	5,116,000	17,200,000		22,447,000
0	86,000	0	86,000	0		296,000
3,000	27,000	0	30,000	71,000		245,000
0	0	0	0	0		241,000
0	0	0	0	600,000	△600,000	0
53,000	10,000	0	63,000	107,000		574,000
0	0	0	0	1,000		1,000
0	0	0	0	8,225,000	△73,941,000	0
27,468,000	46,193,000	0	73,661,000	189,675,000	△74,541,000	368,660,000
1,585,000	85,000	0	1,670,000	0		9,069,000
9,069,000	748,000	0	9,817,000	0		90,188,000
18,000	0	0	18,000	0		18,000
344,000	32,000	0	376,000	0		3,026,000
7,000	0	0	7,000	0		35,000
530,000	0	0	530,000	0		6,404,000
1,118,000	5,259,000	0	6,377,000	0		10,570,000
0	0	0	0	0		19,588,000
0	0	0	0	0		1,943,000
0	220,000	0	220,000	0		2,579,000
140,000	0	0	140,000	0		1,636,000
2,735,000	1,347,000	0	4,082,000	0		18,961,000
478,000	515,000	0	993,000	0		14,865,000
1,324,000	81,000	0	1,405,000	0		3,256,000
1,222,000	0	0	1,222,000	0	△1,222,000	3,161,000
848,000	285,000	0	1,133,000	0		9,069,000
150,000	0	0	150,000	0		404,000
5,672,000	0	0	5,672,000	0		13,978,000
0	0	0	0	0		0
712,000	0	0	712,000	0		2,002,000
302,000	46,000	0	348,000	0	△600,000	1,106,000
95,000	5,085,000	0	5,180,000	0		5,210,000
0	0	0	0	0		1,341,000
1,087,000	0	0	1,087,000	0		1,087,000
574,000	54,940,000	0	55,514,000	0		79,702,000
0	1,070,000	0	1,070,000	0		9,830,000
1,000	0	0	1,000	0	△1,000	0
723,000	0	0	723,000	0		4,560,000
305,000	460,000	0	765,000	0		5,503,000
118,000	2,967,000	0	3,085,000	0		7,962,000
0	△174,000	0	△174,000	0		△1,350,000
29,157,000	72,966,000	0	102,123,000	0	△1,823,000	325,703,000
0	0	0	0	3,052,000		3,052,000
0	0	0	0	13,839,000		13,839,000
0	0	0	0	120,000		120,000
0	0	0	0	1,420,000		1,420,000
0	0	0	0	41,000		41,000
0	0	0	0	0		0
0	0	0	0	2,561,000		2,561,000
0	0	0	0	368,000		368,000
0	0	0	0	0		0
0	0	0	0	11,417,000		11,417,000
0	0	0	0	11,476,000		11,476,000
0	0	0	0	6,785,000		6,785,000
0	0	0	0	17,274,000		17,274,000
0	0	0	0	3,738,000		3,738,000
0	0	0	0	1,000,000		1,000,000
0	0	0	0	3,520,000		3,520,000
0	0	0	0	0		0
0	0	0	0	2,185,000		2,185,000
0	0	0	0	1,638,000		1,638,000
0	0	0	0	580,000		580,000
0	0	0	0	100,000		100,000
0	0	0	0	6,703,000		6,703,000
0	0	0	0	703,000		703,000
0	0	0	0	250,000		250,000
0	0	0	0	0		0
0	0	0	0	4,384,000		4,384,000
0	0	0	0	3,255,000		3,255,000
0	0	0	0	4,782,000		4,782,000
0	0	0	0	△5,397,000		△5,397,000
0	0	0	0	95,794,000	0	95,794,000
0	1,000,000	0	1,000,000	71,716,000	△72,718,000	0
29,157,000	73,966,000	0	103,123,000	167,510,000	△74,541,000	421,497,000
△1,689,000	△27,773,000	0	△29,462,000	22,165,000	0	△52,837,000

《補正予算の主な内容》

社会保険関連事業→学術講演・研修事業
実施事業共通（共済互助）→福利厚生事業

【地域保健関連事業】
早産予防対策事業（県・委託事業）
21,301,000円

【歯科衛生士の育成事業】
学生生徒納付金（入学者増加の為実額に増額修正）
94,400,000円
学院建築物節電回収支援事業費補助金（国）
3,805,000円
建築物節電改修支援事業費補助金申請委託料
800,000円
建物附属設備購入支出
19,200,000円
基本財産積立金（学院）へ繰入額
10,000,000円

【社会的弱者支援事業】
口腔保健センター設備整備補助金（県）
15,000,000円
口腔保健センター設備整備補助金（市）
2,500,000円
償却資産積立金（口腔保健センター）取崩収入
2,900,000円
口腔保健センター機器購入費用
20,363,000円

（内訳）

障がい者用診療ユニット２台	8,740,000円
一般診療ユニット２台	6,930,000円
レントゲン１台	1,417,500円
ポータブルユニット１台	1,590,750円
内視鏡、モニター各１台	1,554,000円
レストレーナー１台	130,410円

第１号議案

平　成　23　年　度

一般会計

社団法人熊本県歯科医師会会計収入支出決算（案）

収入予算額　187,177,252円　　支出予算額　187,177,252円
収入決算額　183,466,249円　　支出決算額　144,562,207円
次期繰越収支差額　38,904,042円

款	項	科　目	予算額	決算額	予算との差額 増	予算との差額 減	執行率	備　考
Ⅰ．事業活動収支の部								
１．事業活動収入								
1		特定資産運用収入	53,000	53,098	98		100.2%	
	1	特定資産運用収入	53,000	53,098	98		100.2%	基本財産積立金利息
2		会費収入	114,702,000	115,804,835	1,102,835		101.0%	
	1	会費収入	68,692,000	69,636,000	944,000		101.4%	
	2	収入割収入	43,400,000	43,588,835	188,835		100.4%	
	3	会館費負担金収入	2,610,000	2,580,000		30,000	98.9%	分割払89名
3		未収入金収入	0	0				
	1	未収入金収入	0	0				
4		入会金収入	3,240,000	2,650,000		590,000	81.8%	
	1	入会金収入	3,240,000	2,650,000		590,000	81.8%	分割払10名
5		補助金等収入	20,313,894	20,664,694	350,800		101.7%	
	1	受託金収入	12,692,894	12,997,894	305,000		102.4%	障がい児口腔ケア地域リーダー育成事業委託金 842,000円 衛生士学院補助金 250,000円 熊本市結核予防費補助金（学生レントゲン検診） 15,000円 口腔保健センター補助金 2,315,000円 歯の衛生週間事業負担金 612,000円 九州口腔衛生学会補助金 300,000円 8020推進事業委託金 3,630,000円 介護者歯科実技研修事業委託金 1,090,000円 在宅歯科診療連携室整備事業委託金 3,943,894円
	2	助成金収入	5,000,000	5,040,000	40,000		100.8%	健康診断助成金、九州口腔衛生学会助成金
	3	日歯事業助成金収入	2,621,000	2,626,800	5,800		100.2%	都道府県事業助成金
6		雑収入	1,470,000	2,897,327	1,427,327		197.1%	
	1	受取利息収入	81,000	180,891	99,891		223.3%	普通・定期預金利息
	2	広告費収入	660,000	1,670,000	1,010,000		253.0%	会員名簿・熊歯会報・熊本県歯科医学大会抄録等広告料
	3	校舎使用料収入	600,000	600,000			100.0%	
	4	雑収入	129,000	446,436	317,436		346.1%	国民年金基金協力謝金、委員会販売物、日学歯会費完納交付金等
7		寄付金収入	1,000	0		1,000	0.0%	
	1	寄付金収入	1,000	0		1,000	0.0%	
8		繰入金収入	8,443,000	2,442,937		6,000,063	28.9%	
	1	他会計繰入金収入	2,443,000	2,442,937		63	99.9%	共済互助会計、収益事業会計より
	2	資金調整基金繰入金	6,000,000	0		6,000,000	0.0%	
事業活動収入合計（A）			148,222,894	144,512,891		3,710,003	97.5%	
２．事業活動支出								
1		会議費支出	7,127,000	4,087,640		3,039,360	57.4%	
	1	総会費支出	268,000	0		268,000	0.0%	
	2	理事会費支出	3,611,000	2,338,373		1,272,627	64.8%	常務理事会・理事会費関係
	3	諸会議費支出	3,248,000	1,749,267		1,498,733	53.9%	郡市会長･専務理事会議･代議員会費関係
2		事業費支出	61,715,894	51,905,919		9,809,975	84.1%	
	1	医道高揚費支出	1,432,000	509,417		922,583	35.6%	鬼塚元会長追悼式関係、退職役員・古稀会員表彰関係
	2	地域保健事業費支出	950,000	710,874		239,126	74.8%	ねんりんピック、笑顔ヘルCキャンペーン関係
	3	総合政策推進費支出	2,893,000	2,041,990		851,010	70.6%	8020推進財団賛助会費、新入会員研修会関係 歯科保健事業圏域説明会関係、日歯役員特別講演会関係 総合政策推進プロジェクト会合関係

款	項	科　　目	予算額	決算額	予算との差額		執行率	備　　考
					増	減		
	4	総務企画費支出	4,742,000	2,390,949		2,351,051	50.4%	熊本県警察歯科医会関係、安心･安全歯科医療推進制度 障がい児(者)口腔ｹｱ地域リーダー育成事業費等 21世紀プロジェクト会議、新法人設立検討臨時委員会
	5	保険対策費支出	5,000,000	5,031,422	31,422		100.6%	医療賠償保険、役職員業務災害保険
	6	会員福祉費支出	5,726,000	5,619,500		106,500	98.1%	健康診断､医療事故･苦情処理手当､部活動補助金
	7	各種委員会費支出	1,000,000	787,800		212,200	78.8%	九州口腔衛生学会関係､歯の健康文化賞委員会旅費
	8	学術費支出	5,031,000	2,933,536		2,097,464	58.3%	生涯研修DVDセミナー･熊本県歯科医学大会 各種学術講演会開催費等
	9	社会保険費支出	3,781,000	4,413,359	632,359		116.7%	個別相談会・個別指導立会い・各郡市担当者会出席旅費 各種社保研修会､点数改定説明会関係費等
	10	地域保健費支出	1,663,000	1,318,083		344,917	79.3%	委員会・各関係会議出席旅費・各郡市担当者会開催費等
	11	厚生・管理費支出	0	0				
	12	広報費支出	4,133,000	3,987,147		145,853	96.5%	熊歯会報・ニュースレター・歯っぴー新聞発行・ＨＰ運営管理費関係費等
	13	学校歯科費支出	1,823,000	1,556,689		266,311	85.4%	学校歯科保健推進大会関係費､学校歯科HP運営管理費 各地域担当者連絡協議会関係費
	14	医療対策費支出	2,448,000	1,744,159		703,841	71.2%	医事処理に関する関係費、医療対策委員会講演会、各郡市担当者会開催関係費等
	15	センター・介護費支出	902,000	856,500		45,500	95.0%	委員会費、介護支援専門員実務研修会関係費等
	16	総務・厚生費支出	1,365,000	1,071,296		293,704	78.5%	委員会費、シニア倶楽部関係費等
	17	各郡市事業助成金支出	7,940,000	7,970,000	30,000		100.4%	各郡市へ配賦
	18	関係団体補助助成金支出	250,000	250,000			100.0%	衛生士会へ
	19	受託事業関係費支出	6,273,894	5,793,894		480,000	92.3%	歯の衛生週間事業会計、在宅歯科診療連携室整備事業（山鹿市歯会へ）
	20	郵送費支出	3,207,000	2,207,924		999,076	68.8%	全会員発送分送料
	21	諸支出金支出	1,156,000	711,380		444,620	61.5%	関係団体年会費、定期購読、日歯法人会費
3		管理費支出	74,173,000	64,131,282		10,041,718	86.5%	
	1	役員報酬支出	9,447,000	8,659,200		787,800	91.7%	役員18名
	2	職員給料支出	19,420,000	18,476,063		943,937	95.1%	職員６名・契約職員２名
	3	諸給与支出	10,606,000	9,930,971		675,029	93.6%	役職等各手当・賞与
	4	職員福利厚生費支出	5,346,000	5,011,879		334,121	93.8%	健康保険・厚生年金・労働保険等
	5	役員旅費交通費支出	12,839,000	9,348,250		3,490,750	72.8%	各団体会議出席、出張旅費、タクシー代
	6	職員旅費交通費支出	1,208,000	911,600		296,400	75.5%	タクシー代、職員出張旅費
	7	需用費支出	9,139,000	6,424,087		2,714,913	70.3%	電話・切手・宅急便・インターネット使用・事務用品・コピー使用・リース料、その他
	8	会務運営関係費支出	1,473,000	873,490		599,510	59.3%	選挙管理委員会、裁定審議委員会関係費 会員名簿作成料、定款及び諸規則検討臨時委員会関係費
	9	嘱託費支出	978,000	969,240		8,760	99.1%	顧問会計士・弁護士報酬等
	10	渉外費支出	3,030,000	3,025,217		4,783	99.8%	各関係団体に伴う祝儀･香典･御樽･会費その他、御中元･御歳暮等
	11	雑支出	687,000	501,285		185,715	73.0%	新聞購読料、ゴミ処理代等諸雑費
4		維持費支出	12,576,000	11,003,328		1,572,672	87.5%	
	1	設備管理補修費支出	820,000	482,086		337,914	58.8%	会館設備修理代等
	2	光熱水費支出	2,185,000	1,541,485		643,515	70.5%	水道・電気・電気保安
	3	管理人件費支出	1,557,000	1,370,200		186,800	88.0%	保安・管理費、エレベーター保守料
	4	管理清掃費支出	1,544,000	1,543,800		200	99.9%	日常・定期清掃代
	5	保険料支出	491,000	457,093		33,907	93.1%	地震・火災保険料
	6	固定資産税支出	5,680,000	5,331,722		348,278	93.9%	
	7	維持雑費支出	299,000	276,942		22,058	92.6%	マットリース料、剪定料等
5		繰入金支出	10,907,000	9,847,078		1,059,922	90.3%	
	1	繰入金支出	10,907,000	9,847,078		1,059,922	90.3%	衛生士学院会計 265,000円 口腔保健センター会計 4,250,078円 歯の衛生週間事業会計 612,000円 8020推進事業会計 3,630,000円 介護者歯科実技研修事業会計 1,090,000円

款	項	科　　目	予算額	決算額	予算との差額		執行率	備　　考
					増	減		
事業活動支出合計（B）			166,498,894	140,975,247		25,523,647	84.7%	
事業活動収支差額（C）A-B			-18,276,000	3,537,644	21,813,644		-19.4%	
Ⅱ．投資活動収支の部								
1．投資活動収入								
1		繰入金収入	1,000	0		1,000	0.0%	
	1	入会金積立金会計繰入金収入	1,000	0		1,000	0.0%	
投資活動収入合計（D）			1,000	0		1,000	0.0%	
2．投資活動支出								
1		固定資産取得支出	2,000	120,960	118,960		999.9%	
	1	什器備品購入支出	1,000	120,960	119,960		999.9%	液晶プロジェクター
	2	その他の固定資産取得支出	1,000	0		1,000	0.0%	
2		特定預金支出	3,468,000	3,466,000		2,000	99.9%	
	1	基本財産引当預金支出	1,000	0		1,000	0.0%	
	2	償却資産引当預金支出	1,000,000	1,000,000			100.0%	積立金会計へ
	3	役員退職引当預金支出	885,000	885,000			100.0%	積立金会計へ
	4	職員退職引当預金支出	1,581,000	1,581,000			100.0%	積立金会計へ
	5	入会金引当預金支出	1,000	0		1,000	0.0%	
投資活動支出合計（E）			3,470,000	3,586,960	116,960		103.3%	
投資活動収支差額（F）D-E			-3,469,000	-3,586,960		117,960	103.4%	
Ⅲ．予備費支出（G）			6,074,000	0		6,074,000	0.0%	
当期収支差額（H）C+F-G			-27,819,000	-49,316	27,769,684		0.2%	
前期繰越収支差額（I）			38,953,358	38,953,358			100.0%	平成22年度より
次期繰越収支差額（J）H+I			11,134,358	38,904,042	27,769,684			

第２号議案

平成23年度　特別会計収入支出決算書（案）

会　　計　　別	予　算　額	収　入　額	支　出　額	収 支 差 額
共済互助会計	90,856,000	96,287,648	38,355,450	57,932,198
衛生士専門学院会計	104,480,000	104,065,387	90,436,115	13,629,272
学院運用基金会計	6,745,143	6,743,388	0	6,743,388
口腔保健センター会計	18,773,000	19,185,848	19,185,848	0
労働保険事務組合会計	7,127,000	7,971,991	4,356,086	3,615,905
産業歯科会計	2,754,000	3,159,751	378,482	2,781,269
歯の衛生週間事業会計	2,993,000	2,568,574	2,495,338	73,236
資金調整基金会計	71,322,232	71,322,232	0	71,322,232
くまもと歯の健康文化賞会計	15,129,000	15,129,861	70,500	15,059,361
本会運営基金会計	10,000,000	10,000,000	0	10,000,000
8020推進事業会計	3,631,000	3,630,048	3,630,048	0
介護者歯科実技研修事業会計	1,091,000	1,090,021	1,090,021	0

平　成　23　年　度

特別会計

社団法人熊本県歯科医師会収益事業会計損益決算書（案）

支出の部　　収入の部

款	科　目	予算額	決算額	予算との差額		執行率	款	科　目	予算額	決算額	予算との差額		執行率
				増	減						増	減	
1	会議費	1,565,000	897,286		667,714	57.3%	1	事業収入	22,510,000	22,060,346		449,654	98.0%
2	事業費	6,439,000	5,337,067		1,101,933	82.9%	2	事業外収入	60,000	113,679	53,679		189.5%
3	管理費	13,331,000	12,042,218		1,288,782	90.3%							
4	維持費	2,513,000	2,349,331		163,669	93.5%							
5	備品減価償却費	369,000	372,467	3,467		100.9%							
6	建物減価償却費	1,071,000	1,070,470		530	99.9%							
7	寄付金	1,000	0		1,000	0.0%							
8	法人税,住民税及び事業税	81,000	783,600	702,600		967.4%							
支　出　合　計		25,370,000	22,852,439		2,517,561	90.1%	収　入　合　計		22,570,000	22,174,025			
当　期　純　利　益							-678,414						

貸　借　対　照　表

勘定科目	金　　額	勘定科目	金　　額
資産の部		負債の部	
流動資産	6,723,922	流動負債	3,542,588
固定資産	10,000	正味財産の部	3,191,334
資産合計	6,733,922	負債・正味財産合計	6,733,922

平成24年度　熊本県学校保健功労表彰者名簿

（順不同、敬称略）

氏　名	郡市名	年齢	勤　務　校　名	氏　名	郡市名	年齢	勤　務　校　名
河上　　正	熊本市	71	熊本市立鹿南中学校	工藤　隆弘	熊本市	59	熊本市立田原小学校
牧野　敬美	熊本市	69	私立開新高等学校	中嶋　隆志	熊本市	58	熊本市立田底小学校
神山　久志	山鹿市	64	山鹿市立山鹿中学校	梁　　瑞峰	球磨郡	57	水上村立湯山小学校
森本　博仁	玉名郡市	63	私立玉名女子高等学校	温　　永智	熊本市	56	熊本市立菱形小学校
藤岡　憲昭	熊本市	61	熊本市立五霊中学校	伊藤　明彦	菊池郡市	53	合志市立南ヶ丘小学校
野村健一郎	水俣・芦北郡市	60	芦北町立田浦中学校	竹下　憲治	熊本市	52	熊本市立北部中学校

お知らせ

9月15日（土）午後1時より『元会長 故 宇治壽康先生追悼のひと時』が、執り行われました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

（広報委員会）

臨時総会　すべての議案を承認可決

日　時　9月15日（土）午後5時
場　所　熊本県歯科医師会館4階ホール

1．開会　副会長　宮坂　圭太

2．仮議長選出

3．議長・副議長選出
　議　長　福嶋　修治（荒尾市）
　副議長　中村　　進（宇土郡市）

4．議事録署名人指名
　宮本　浩幸（熊本市）
　玉置　孝信（上益城郡）

5．物故会員に対する黙祷

6．浦田会長挨拶

7．報告
　1）会務報告　専務理事　渡辺　賢治
　2）会計報告　常務理事　八木　義博
　3）監査報告　監事　　西野　隆一
　4）日歯代議員会報告
　　日歯代議員　小島　博文
　5）臨時代議員会審議経過報告
　　代議員会議長　久々山芳文

8．議事
第1号議案　平成23年度特別会計収入支出決算（案）の承認を求める件
第2号議案　平成24年度熊本県歯科医師会会計収入支出補正予算書（案）の承認を求める件
第3号議案　一般社団法人移行に伴う熊本県歯科医師会定款改正（案）の承認を求める件
第4号議案　一般社団法人移行に伴う関係諸規則改正（案）の承認を求める件

以上、第1号議案から第4号議案まで全て承認可決された。

9．協議
　1）時局対策について
　　（広報　立本　尚史・宮田　正孝）

熊本市の苦情件数が大幅に減少

― 各郡市医療相談担当者会議 ―

医療対策委員会

7月21日（土）に県歯会館第1会議室において、本年度の各郡市歯科医師会医療相談担当者会議が行われた。

小島副会長より開会の宣言があり、原田委員が会議を進めた。続いて、浦田会長から挨拶があり、医療相談担当者と委員会委員の日頃の活動について、感謝の言葉があった。次に医療対策冨屋理事からは、会員が日常臨床に安心して取り組めるように職務に邁進しようと決意表明があった。

今回の報告・協議は

⑴　平成23年度事例分析・検討について

岡田委員長から、毎年9月に苦情が多い。熊本市は郡部に比べて苦情が多く、原因は、会員数が多いことと、都市部は情報量が多く、歯科医療に対する不信感を助長する因子が日常の中に存在することに起因しているのではないか。また、郡部では、過疎化が進んでいる一方で、患者と歯科医師との間の信頼関係が強い為、苦情が少ないのではないか。

また、23年度苦情件数は減っているがこれは、熊本市の件数が大幅に減少している事が原因で、郡部での件数は減っていない。年齢別では、40代～60代の女性が多く、苦情内容の上位は、料金の問題、説明不足、歯科医院の対応・態度、そしてインプラントとなっており例年と大差がなかった。

しかし、精神的に問題を抱えた患者からの苦情が目立つようになり、事務局員、委員ともに苦慮するケースが増加しているのが特徴的である。

これらの分析・検討を踏まえて、さらに重要視されるのが、インフォームドコンセントであろうと考えられる。

患者に対する、インフォームドコンセントの要点として、

1．まずは患者の言う事に耳を傾け、共感すること（うなずく事で患者の励ましになる）

2．説明は解りやすく、具体的に。（一般人の理解度に意識を向けて、伝えるための努力をする。日常語に置き換え、言葉を明確に、正しい意味伝え、もう一歩踏み込んで、混同を避けるように説明。カタカナ語はなるべく使わないで、患者の反応を見ながら話す）

3．患者の自己決定権の尊重（その治療を受けるか、受けないかの意思確認を必ず行う）

4．具体的事項の伝達（治療費用、治療期間など、治療内容・説明が不十分で患者が理解していないと説明義務違反に抵触する恐れもあり。訴訟に持ち込もうとする、患者の周りの環境の変化に対応していく必要がある）

⑵　各郡市医療相談担当者の患者への対応方法（担当者の心得）について

温委員から、熊本県歯科医師会発行の『DOSからPOSへ－より良い信頼関係のために』のｐ44－ｐ46をもとに、具体的に電話対応の方法を説明された。患者に対し、医療苦情相談担当者の仕事、活動の目的、立場、権限等を明確にし、相手に理解してもらった上で苦情に対応する

具体的方法について説明がなされた。

⑶　平成23年度ニュースレターの掲載事例についての解説

冨屋理事、永松副委員長、我那覇委員、徳丸委員から具体的事例に対する説明が行われた。

ニュースレターに掲載されている事例に対し、実際に医療対策委員会で、どのように対応したかを詳しく説明した。その中には、明らかに歯科医師側の説明不足、治療内容に不備がある場合があり、また、患者が精神的に問題を抱えている場合など、実例を示して解説が行われた。

⑷　質疑・応答

一般診療の保証期間の目安について質問があり、判例ではその目安は10年であるとされるものがあり、患者に対する説明の基準として、10年を統一見解とするとした。

最後に、冨屋理事が、熊歯キャラバンの研修会を大いに活用していただきたい旨、伝えられた。

犬束委員の閉会の辞を以て、24年度各郡市医療相談担当者会議を終了した。

平成22年度をピークに23年度は、苦情の件数は確かに減少しているのだが、その事例の質が変化してきている。患者の話を聴くだけで解決していた問題から、解決までの期間の長期化や内容の複雑化が顕著になってきている。また、歯科医師からの相談件数が大幅に増加している傾向もあり、この事は今後の課題として検証し対策を考えて行きたい。

（我那覇　生純）

正しい保険ルールの熟知を

― ニューフェイス社保研修会 ―

社会保険委員会

9月1日（土）午後4時より県歯会館3階研修室にてニューフェイス社保研修会が開催された。この研修会は、主に開業後間もない会員や、親会員から歯科医院を継承または継承を予定している子会員を対象とし、今年で2回目を迎える研修会となる。

説明をする前田理事

勇常務理事の開会の挨拶の後、理事及び各委員より以下の項目に関して説明がなされた。

①レセプト電子請求と審査会
②正しいカルテ記載
③正しい算定の仕方
④返戻・査定の対応
⑤個別指導の現状

②、③についてはカルテ等の重要性、④については返戻・査定理由を理解することの重要性を認識する良い機会になったと思う。

我々歯科医師は、保険医として療養担当規則に則り、正しい保険ルールを熟知し、歯科医学的に妥当適切な診療をし、間違いのないレセプトを作成・請求しなければならない。今回の研修会はそれを実践するためのものであり、そこで得たことを今後の診療に十分反映させてもらえれば幸いである。また、日々の診療報酬請求業務がスムーズに進むよう、会員の皆様には社保委員会をさらに活用して頂きたいと思う。

当日は20数名の参加があった

（社会保険　金本　良久）

有意義な意見交換の場

― 九州各県歯科医師会厚生担当者会 ―

総務・厚生委員会

9月9日（日）、九州各県歯科医師会厚生担当者会が、鹿児島県歯科医師会主催でホテルレクストン鹿児島にて行われ、本会より担当理事牛島及び宮井祐委員が出席したので報告する。鹿児島県歯科医師会曽山副会長の開会の挨拶のあと、鹿児島県歯科医師会森原会長、日本歯科医師会守田常務理事にそれぞれ挨拶頂いた。慣例により座長に鹿児島県歯科医師会堀川常務理事、副座長を（次期担当県の）大分県歯科医師会木村常務理事が選出されたのち、日歯報告が守田常務理事からあった。今回は日歯福祉共済制度が新法人移行時より保険業法の適用を受けるため、認可特定保険業者として運営を継続することとなり、その改正点等についての説明があった。特に立替払い・前払いおよび高齢者前払いの廃止に伴い、適用を受けている加入者の会員の中で、死亡共済保険金が減額される高齢者会員には貸付金が死亡共済金を超過し、将来的に相殺しきれないケースの対応などについて詳しく説明があり、今後9月の日歯代議員会後に会員への改正案内が行われる予定ということであった。その後、厚生関係事業計画及び予算について各県から説明と質疑応答、続いて各県提出議題について協議が行われた。協議題には、

①事務局、衛生士学校職員の勤務評定について

②県歯会館建築における資金計画について　③未入会者対策について

④会員の福祉の向上を実現させる具体的事業について

⑤福祉共済制度の見直しについて　⑥男女共同参画についてといったものが挙げられ、各県意見交換を行った。最後に日歯への質問・要望ということで、本県より福祉共済制度の改正と日歯組織率アップについて、若い歯科医師の入会率低下に伴い、共済制度が圧迫されていく予測の中、日歯の将来的なビジョンと対策について質問をし、守田常務から福祉共済制度内容の5年毎の見直しをしていくことが必要で、会員のセーフティネットとしての共済制度は守られていかなければならないこと。また同時に若い会員の入会率をアップさせるための対策も種々講じており、例えば大学研修医を第6種会員のような形態で入会させる案や低収入の会員への会費免除規定設定等の検討も行っているという回答を頂いた。すべての協議が滞りなく終了し、鹿児島県歯科医師会の伊地知専務理事の挨拶により閉会となった。

挨拶される森原鹿児島県歯会長

特に今年度は法人改革に伴う、共済制度に関し各県の意見交換ができたことは有意義であった。次年度は大分県にて開催される予定である。

（総務・厚生　牛島　隆）

学術レポート

医院の総合力と学術研修
― サービスの品質を求めて ―

熊本市　　松永　　久 会員

去る、平成23年11月に日本歯科医師会　熊本県歯科医師会　ビデオ研修会において上記テーマで会員発表の役目を頂いた。本稿でその時の発表の要旨を報告させていただく。

日々進歩する歯科医療の情報と技術に対し、私たち歯科医療従事者は研修を重ねる必要があることは言うまでもないことである。また学術研修で得られた事柄を臨床に反映し患者にそれを提供することとなる。替えて言うならば「高品質の医療サービスをいかに提供するか」と言うことになろう。当院においては試行錯誤でまだ行き届かない部分も多々あるが私の考えをお示しすることで、皆様のお役に立てればと思う。

○　サービスの品質とはなにか？

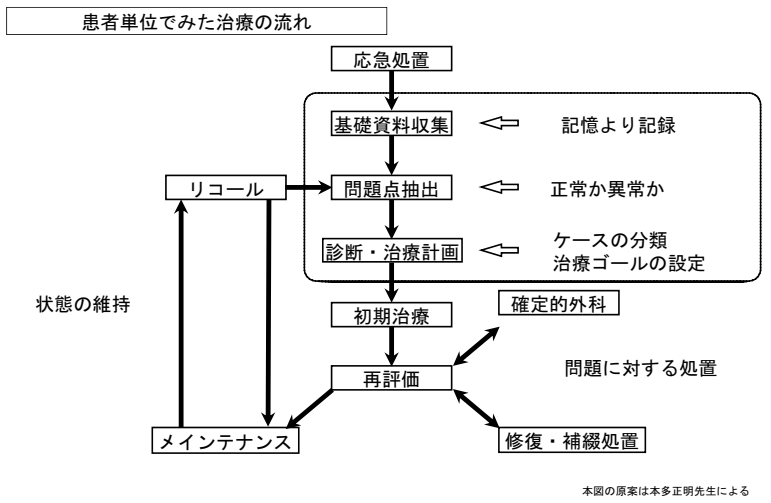
辞書で「サービス」の意味を調べると、①品物を売る時、客の便宜を図ったり値引きや景品をつけたりすること　②相手に気を配って尽くすこと　③物質的財貨を生産する労働以外の労働、具体的には運輸、通信、教育などにかかわる労働で、第三次産業に属する、用役、役務。（大辞林：三省堂）とある。ここで言うサービスは歯科医業である③と、歯科医療において大切な②の部分である。

畠山芳雄氏（日本能率協会マネジメントセンター）によると医療は個別受注サービスと言う特殊性を持ったサービス産業である。またサービスはストックが出来ず生産と消費が同時で、ほとんどのサービスが人の力に依存するため品質のばらつきが出やすい、とおっしゃっている。つまり歯科医療は個々の患者の多様な状況に対応する必要がある。さらに歯科医療を施す行為自体はストックが出来ず、その術者（歯科医師、歯科衛生士）の技量により結果にばらつきが出ることとなる。医院としてはこの品質のばらつきをなくすためにどのように対応するかと言うことをシステムも含め考える必要がある。

○　来院者（患者）の処置の流れ

患いを訴え来院した患者に対し、私たちはまずその痛みや、審美障害、咀嚼障害に対し応急処置を行なう。重要なのはこれからである。口腔内全体の既往歴や現症の把握、どのような状態であるかを確認し、何が正常で何が問題なのかを分析する。患者にはその情報を伝え、問題に対しどのような治療が必要なのか、期間、治療法そして治療費等の治療計画の提示を行い、術者・患者間で共通の治療ゴールを持つことが大切である。

この流れを作るためにまずは資料採りを行なう。



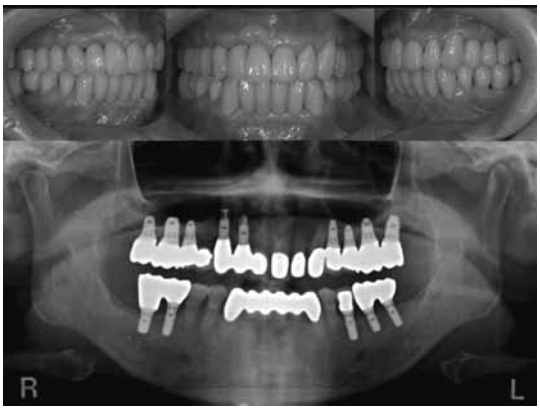
（図１）患者単位でみた治療の流れ：患者が来院し応急処置を行なう。そのまま漫然と処置を行なうのでなく、顔貌や口腔状況を確認し治療計画を立てて、治療方針、治療費など患者と共通のゴールを設定する。（本図の原案は本多正明先生による）

エックス線写真（デンタル型、オルソパントモ型、セファロ型、ＣＴ）口腔内写真、顔貌写真、歯周組織検査、歯周病菌やむし歯菌検査、診断用模型などを患者、口腔内の状況に応じ必要な資料を採得する。さらにこの情報を分析し診断を下し、治療方針を立てる。方針に対し患者の同意が得られたら、可能な技術を駆使し問題に対しその解決をするための治療を行なう。治療終了後、問題の解決が出来たか再評価を行い、メインテナンスへと移行する。（図１）

このような患者単位の流れを作ることで、支障なく滑らかな治療が可能になり最終的には患者からも信頼を得ることが出来ると考える。

（写真１、２）

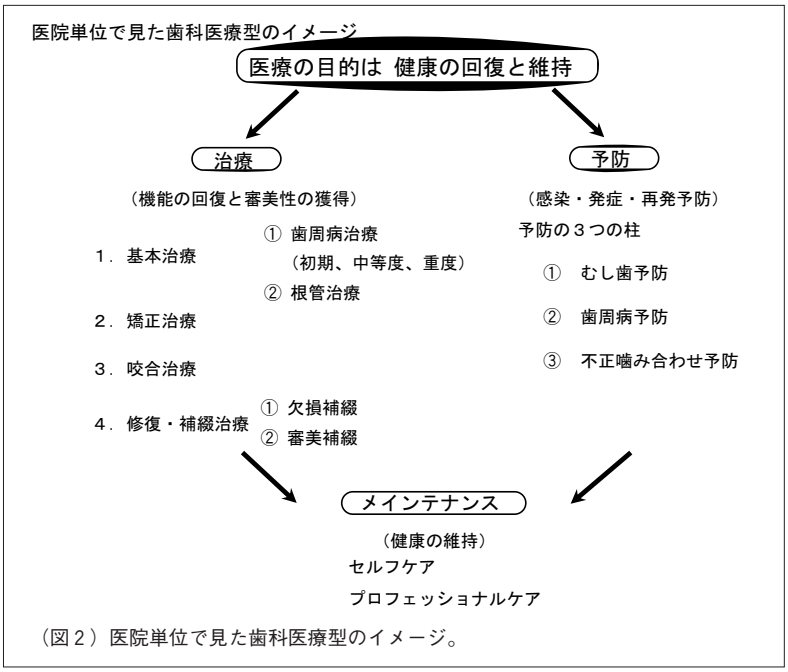
（写真１）57歳、男性初診時の状態：歯周病、欠損が進行し口腔機能が崩壊している。特にこのようなケースは基礎資料の収集と治療計画の立案を行い、患者とよく話し合って方針の決定を行なう。



（写真２）歯周治療、咬合治療、欠損補綴治療等を行い現在メインテナンスへ移行し、状態の維持を行なっている。

○　当院における歯科医療の型

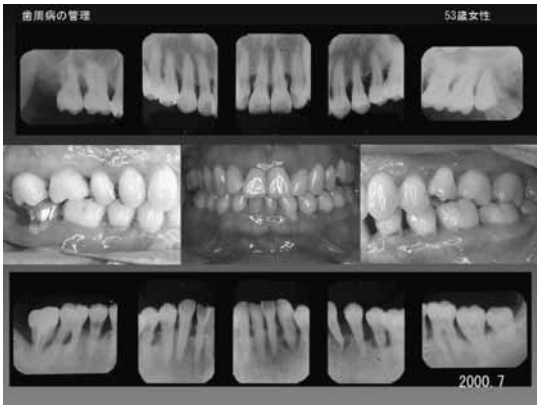
医療の目的は健康の回復と維持であり、そのためには治療、予防そしてメインテナンスいずれもが必要である。図２は当院におけるそのイメージを表したもので、治療では機能の回復と審美性の獲得を目的とした①基本治療、②矯正治療、③咬合治療、④修復・補綴治療を位置づけている。また予防の面ではむし歯、歯周病の感染症において感染・発症・再発予防を、さらに永久歯列・咬合の完成を目的とした混合歯列期における咬合誘導（育成）を位置づけしている。積極的治療、予防を行なった後は健康の維持の重要性を患者に説き、その後は来院者としてメインテナンスへ移行する。（写真３、４）



（図２）医院単位で見た歯科医療型のイメージ。

また、図２で咬合治療、補綴治療においては技工士が大きな働きをし、むし歯予防、歯周病予防、初期・中等度の歯周病治療、さらにメインテナンスのほとんどを歯科衛生士が担う部分であると考えている。医院の総合力を上げるためには技工士、衛生士の存在と働きなしには考えられない。各々のスタッフが自分の立場で仕

事をしっかりと行ない、その仕事が統括され医院を円滑に動かして行くためにはシステムの構築が必要となる。院長としては個々の患者における治療、予防、メインテナンスの流れと医院全体での流れのシステムを考える必要がある。



（写真３）53歳、女性初診時の状態：中等度の歯周病に罹患している。

（写真４）主に歯科衛生士による歯周処置を行い、メインテナンスに移行。歯周組織の回復が確認できる。

○　医院のシステム作り

前項でシステムの構築が大切であると述べたが、まずは個人の能力向上のために、研修会や学会に出て知識や技術を身に付け、それを医院のシステムに組み込んでいく。当院では開業以来、月末日の午後を休診し、院内勉強会を行なってきた。内容は研修会報告、治療説明の資料作り、担当以外の患者の状態、治療がどの様になっているのかを皆で共有するための症例検討会、PMTCや口腔内写真撮影のトレーニング等である。もちろん先輩から後輩へ直に技術等を伝えることも行なうようにしている。

○　患者の事前期待（畠山氏の著書から）

畠山氏は「顧客」と言う表現をしているがこの場では患者と表現する。患者はある事前期待（評判、紹介、ちゃんと治してくれる期待など）を持って歯科診療所を訪れる。

・ 事前期待＜実質評価　「聞きしに勝る」→リピート患者となる
・ 事前期待＞実質評価　「なんだ、もう使うまい」→患者を失う
・ 事前期待＝実質評価　「印象が薄い」→ライバルがいなければ継続

ここで紹介した著書の初版本は私が大学を卒業した頃に出版された。その内容がいまだに私の刺激となっている。しかしながら最初に述べたように、その技術や知識（医療サービスの品質）には個々人によりばらつきが出てしまう。自分自身の学術研修も含めサービスの品質を上げるために行なわなければならないことは事尽きない。

（参考図書）畠山芳雄。新装版　サービスの品質とは何か。東京：日本能率協会マネジメントセンター、2004。

この学術レポートは、本会ホームページ（会員専用ページ）にもカラー写真にて、掲載しております。

郡市会だより

在宅療養を積極的に

― 7月研修会 ―

宇土

7月13日（金）午後7時より、宇土市市民会館会議室において、県歯より浦田会長、渡辺専務、松本理事、田中委員長の4名をお招きして7月研修会を開催した。まずはじめに中村会長より「今回は内容がいくつもあって時間が足りないと思うが、しっかり聞いて明日からの診療に生かしていきたい。」と挨拶があり、次に浦田会長より「歯科は今後も、より一層介護を含む在宅療養に行政と連携しながら積極的に取り組んでいく必要がある。そのためにも今日の研修会の内容をぜひ役立ててほしい。」と挨拶があった。

内容は、以下の順で進められた。

1．介護保険について（在宅療養支援歯科診療所の届出可能）
　講師　センター・介護　松本　信久理事
2．正確なレセプト請求のポイント
　講師　社保委員会　田中　文丸委員長
3．熊本型早産予防対策事業の説明
　講師　渡辺　賢治専務理事

解説する松本理事

研修会の最後に、田中栄一会員より「訪問介護については我が郡市でも今後できるだけ協力していきたい、また、早産予防については今後対応できるよう各歯科院で準備をしていきたい。」と熊歯キャラバン隊の4人の先生方への謝辞が述べられ、7月研修会は終わった。今回の研修会で、ますます高齢化が進む中で、いかに在宅における歯科の協力が不可欠であるということがわかった。とても有意義な研修会となった。　（坂口　泰子）

8020達成者を増やすためには

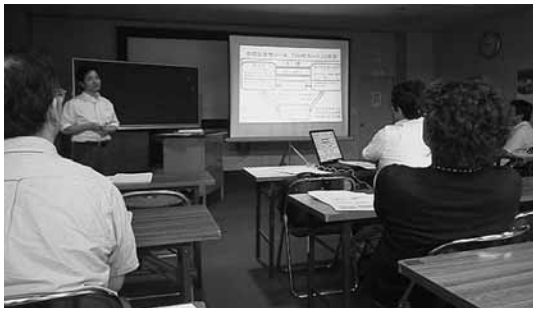
― 熊歯キャラバン隊リレー講演会 ―

荒尾

9月7日（金）午後7時30分より中央公民館で始まった荒歯会例会の後、熊歯キャラバン隊リレー講演会の第一弾として県歯地域保健担当である田上大輔理事をお招きし、「歯周病患者の安定的顕在化への挑戦（糖尿病を切り口とした医療連携・行政との連携）」という演題で約1時間講演頂いた。

厚労省の速報値で8020達成者が全国で約40％目前まできているが50％の大台に乗せるためには歯科医師会の活動を国の政策にいかに組み込むかが重要になりつつある中、現在県歯で行っている糖尿病、早産、メタボ対策活動の内、糖尿病対策を解説して頂いた。

その中で8020未達成者と達成者を比較した場合、歯周病罹患患者と非罹患患者を比較した場合では医療費総額はそれぞれ後者が低いという統計から、歯周病に罹患させること無く残存歯を増やせれば、医療費の抑制につながると言うことを各方面に歯科からアプローチする重要性、また原因の一つとされている糖尿病患者の歯周病治療のための情報提供、逆に歯周病患者の糖尿病治療のための情報提供の行い方を実例をふまえての説明、そして



残存歯を増やすことが重要

現在糖尿病患者に発行している「DM熊友パス」のコンセプト、活用方法について講演頂いた。

今回、8020達成者を増やすためには歯科の力だけでは限界があることを痛感した反面、医科、薬科、行政との連携が密になれば実現身を帯びてくることが改めて感じられた上に、理事もおっしゃっていた荒尾は三師会のつながりが他郡市より密な分、是非実施していきたいという思いが伝わってきた1時間であった。

（坂田　輝之）

郡市会だより

人吉

患者さん・スタッフにもやさしい歯科医院を目指そう

― 人吉球磨合同学術講演会 ―

8月18日（土）午後3時30分より、清流山水花　あゆの里2階エルダンジュにて、熊本歯科衛生士専門学院　伊藤明彦学院長を講師に、「やさしい歯科医院を目指して」と題して、平成24年度人吉球磨合同学術講演会が開催された。会員および医院スタッフを対象に、歯科医療の厳しい現状に対して、これから院長はもとより、スタッフと力を合わせた歯科医院づくりが重要との目的で、執り行われた。

開会の辞（人吉市歯科医師会　御手洗常務理事）、会長挨拶（人吉市歯科医師会　今藤隆文会長）、そして講師紹介の後、以下の内容で早速講演に移った。

●**熊本歯科衛生士専門学院の現状**　各郡市の学生分布、人吉市・球磨郡の出身者の推移、指定校推薦（人吉高校・球磨商業高校）、奨学金、人吉市・球磨郡の受験者数・入学者数について学院長の立場から解説された。歯科衛生士の職業がやりがいのある仕事であることを周知させ、定員割れの状態が続いていることから、地元からの受験者の増加と入学者の確保が必要不可欠である。

●**私の最近の出来事と考えさせられた事**として、昨年3月11日に起こった東日本大震災直後に参加された支援活動を挙げられ、当時の凄まじい被災地の状況や活動状況のスライドを交えながら報告された。また、被災地より帰られてからも、当時の写真を見ながら当時を振り返っては、涙ぐまれる日もあったそうである。自分ひとりではできない、感謝の気持ちをどのような場面でも忘れずに生きていきたい、と「絆」の重みを痛感された。

●**優しい院内環境づくり**として、患者さんの心理としては、来院されるまでは不安・恐怖があり、院内の雰囲気が暗いと嫌な気持になり、その反面明るいと「どうにかしてくれそう」という気持ちになり、医院とのコミュニケーションも上手くいく。いわゆる、明るい院内環境づくりが必要である。そのためには、院内のキャッチボールがいかに上手くできているかが重要で、院長が言ったことをスタッフがすぐにわかること、スタッフが言ったことをきちんと聞く姿勢があることが大事である。スタッフに何かをお願いするときは、「～をお願いします」と言うと、スタッフからも「はい」と気持ちがいい返事が返ってきて、さらに「ありがとう」と言う。そして、スタッフが診療内容をわかるように、院内勉強会を開くことも重要である。

会員・スタッフ参加で盛会

「人に与えたものは、必ず自分に返ってくる」という人生の法則を、1985年イラン・イラク戦争の最中、トルコ旅客機がイラク在住日本人215名をタイムリミットぎりぎりで救出してくれた出来事、「エルトゥールル号事件～100年越しの恩返し～」を例に挙げ紹介された。また、このような教訓によって、医療苦情を未然に防ぐことにもつながる。

●**優しい患者さんへの対応**として、できる限り易しくわかるまで説明することが必要である。臼歯・前歯の役割、ペリオの進行、ナイトガード、レントゲンの重要性と照射線量、定期健診の重要性などを模型・資料および口腔内・顔貌写真を活用しながら、プラスの言葉を使って説明する。

●**優しい治療を目指してとして**、HAインプラントを使った抜歯即時インプラント治療について、数多くの症例写真を使って解説された。埋入位置や角度・深度・初期固定など具体的に説明され、生物学的幅径は、天然歯のみならず、インプラントにおいても重要である。患者さんにとっては、痛みが少なく、腫れにくいため、侵襲の少ないやさしい治療と言える。

講演終了後、質疑応答に入り、会員およびスタッフからも活発な質問が出され、伊藤学院長には講演予定時間を延長してまで、懇切丁寧に回答して頂いた。その後、謝辞（人吉市歯科医師会　中原専務理事）、閉会の辞をもって講演会を終了した。

その後、同ホテルにおいて会場を移して開かれた懇親会は、球磨郡歯科医師会　秋山喬会長の乾杯の音頭で始まり、伊藤学院長を囲んで賑やかに球磨焼酎を酌み交わした。会員一同、これからの厳しい歯科界に立ち向かうためには、診療に対する考え方と姿勢をスタッフと共有し、患者さんにもスタッフにもやさしい歯科医院作りが何よりも重要であることを再認識した。　（斉藤　健三）

郡市会だより

歯冠修復に接着をいかに活用するか

― 第２回学術講演会 ―

熊本

８月18日（土）県歯会館４Ｆ大ホールにおいて、第２回熊本市歯科医師会学術講演会が開催された。本年４月より、臼歯部の接着ブリッジが保険適用になったこともあり、最新の接着について　東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科　摂食機能保存学講座　う蝕制御学分野　二階堂徹講師をお招きし「歯冠修復に接着をいかに活用するか」と題してご講演があった。

講演では、接着の歴史的背景や接着の利点（接着性能の向上により、歯牙と修復物の接着はもとより、歯髄や象牙質の保護、修復物のマージンの封鎖性による２次う蝕の予防、歯質の強化につながる）を市販されている接着材料のそれぞれの特徴や使用法などを交えながら、エビデンスや多くの臨床例を基にお話しされた。

そして、歯牙を喪失する大きな原因の一つに、失活歯による破折を挙げられ、歯牙の延命には無髄歯にしないことが最重要で、接着を用いたMIコンセプトに元づいた治療が防止につながることやう蝕治療における感染歯質の除去の方法について、硬さ、着色、湿潤状態、痛みなど総合的に判断し、最後に検知液によりチェックを行う方法や、レジン修復のテクニックなど詳しく解説された。

最新の接着とは

また間接歯冠修復法における応用法として、窩洞形成の際、露出した象牙質面を接着剤（ボンディング材＋フロアブルレジン）によって被覆・保護し（レジンコーティング法）印象採得後、修復物を接着性セメントで接着させる手法を紹介された。これによって歯髄保護とレジンセメントの歯質接着性を高めることになり、より予知性が高くなってきたことなど、今後の接着を用いた治療の可能性を幅広く示唆された。

参加者も多く、明日からの臨床に役立つ大変有意義な講演会であった。講演会終了後も参加者から多くの質問が挙げられていた。

（清水　幹広）

在宅医療の現状と展望

― 第３回天草郡市三師会学術研修会 ―

天草

第３回天草郡市三師会学術研修会が８月25日（土）午後４時20分、天草市、天草地域医療センターヒポクラートで行われた。

これは『医歯薬の三師会の連携を密にするために、それぞれに関係がある項目の勉強会を一緒に行う』という趣旨で計画された研修会で、３回目の今年は「在宅医療の現状と展望」というメインテーマのもとに学術講演が行われ、多くの医師、歯科医師、薬剤師が参加し、さらに介護職関係者、行政からの参加もあった。

講演は薬剤師会より「在宅における保険薬局の役割」の演題で薬局セントラルファーマシー長嶺 代表 稲葉一郎氏に第１講演をいただき、歯科医師会の方から阿蘇きずな歯科医院院長 我那覇生純会員に「歯科における在宅診療の実際」で第２講演をいただいた。小休憩の後、医師会から熊本在宅ドクターネット事務局長　田島医院　田島和周院長に「在宅医療：在宅医が考えていること」の演題で第３講演をいただいた。

講演終了後は講師の先生方をシンポジストにしてのミニシンポジウムが開かれ意見交換と質疑応答が行われた。

意見交換と質疑応答が行われた

少子高齢化が進む熊本県のなかでも超高齢化が進む天草地域にとって在宅医療への取り組みは避けて通れない問題であり、先月７月の天草郡市歯科医師会の勉強会にも今回の講師でもある我那覇会員をお招きしての研修会を行なった。

地域の医療ニーズを読み取り、今後の地域（住民）の変遷を予測しながら自分の診療スタイルをそれに適応させることが必要だと感じる。

（内﨑　祐一）

郡市会だより

定款案を全員一致で承認

― 総会 ―

八代

9月1日（土）15時より八代ロイヤルホテルにて、平成24年度八代歯科医師会総会が行われた。

開会の言葉を上田龍吾副会長、進行役を中山専務理事、議長を福田会員、副議長を上元会員、議事録署名人として高野会員、岩崎会員が選出された後、中川会長から挨拶の中で、この歯科医師会をより良くする為、会員の率直な意見を要望しますとの話があった。その後委員会報告の中で県歯の地域保健委員である宮本会員より、熊本型早産予防事業についての概要、システムについての説明があった。

また、県歯の医療対策委員長である岡田会員より、トラブルが発生し歯科医師会に相談する事例が生じた場合、30日以内に報告するように会員への要請があった。

その他、センター委員長の山口透会員より休日当番医の慰労の意味も含めて、口腔保健センターでバーベキューを開催する事が決定し、会員の参加を募った。

その後議事にうつり、会務、会計、センターなどの経過報告ならびに議事として平成23年度の決算の承認を求める第1号議案から第4号議案まで全会一致で承認可決された。そしてこの総会の最重要議題である第5号議案、

一般社団法人八代歯科医師会定款（案）の承認を求める件の説明がなされ、その後全員一致で承認された。

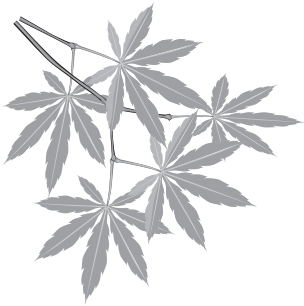
執行部のメンバーも無事定款（案）が承認されほっとしたようだ。

早産予防事業などの質疑応答が終了した後、総会を終えた。17時半より同ホテルで、来賓を招いての懇親会が開かれた。

そこでは市政に関わる来賓の方々に対して中川会長が、八代に病院歯科をと猛プッシュされていたようだ。是非実現できるように我々会員もできる限り協力していこうと思う。

2時間余りの短い時ではあったがあちこちで会話の輪が出来て、参加者全員楽しく有意義な時間を過ごせたようである。

（山口　貴久）



強かった九州選抜チーム

― 第一回全国歯科医師野球大会 ―

８月26日（日）、第一回全国歯科医師野球大会が西武ドーム、大田球場に於いて開催された。

これまで何度も、全国大会をやりたいという声があったものの、なかなか実現には至らなかった。

今回、千葉の砂川代表、岐阜の実行委員長のご尽力で、全国北海道から九州までブロックに分け、16チーム参加して、２球場で盛大に開催された。

大会前日の前夜祭では、元大リーグ、シアトルマリナーズの大魔神、佐々木投手が来て、オークション、トークショーが行われ盛り上がった。始球式は佐々木投手が投げ、本県の千場監督がバッターとしてボックスに立たれての対決であった。

九州地区は選抜チームで、北、南に分け、２チームで出場した。九州選抜北チーム（熊本、佐賀、大分）に、本県から千場監督。選手として、上田（博）（サード）、河合（ライト）、井野（レフト）、山口（センター、投手）。５人が出場した。

対戦相手は、千葉選抜チーム。前評価が高く、関東では強豪ということであったが、スコアは11－１の完勝であった。ピッチャーは九州№１の大分の矢野投手。そして迎えは、130Ｋの速球を投げる、本県の山口投手。二人とも見事なピッチングだった。

攻撃陣も上田選手の右中間を破る３塁打、河合選手、井野選手も絶好調で、二人ともセンター前へのクリーンヒットの攻撃が光った。

今回は第一回ということで、１試合の親善試合であったが、次回からは、全国、８ブロックに分け、８チームのトーナメント戦で優勝を決める大会になることになった。

九州地区のレベルは高かった

西武ドームで、一生の思い出になった

なお、もう一つのチーム、九州選抜南チーム（鹿児島、宮崎、長崎、福岡）も新潟選抜チームと対戦し、13－０のスコアで圧勝した。

大会本部も、あまりの九州地区の野球のレベルの高さに驚嘆されていた。もし、トーナメントであれば、多分決勝戦は九州選抜北と南の戦いであったと予想される。

今年、第一回大会が開催されたことで、来年から継続した大会になることに決定した。野球を愛する全国の歯科医師の夢が叶い、選手全員、又、来年から全国大会出場への目標ができることになった。

西武ドームでの第一回全国大会出場、選手達は一生の思い出になった。

九州北選抜チーム　11－１　千葉選抜チーム
九州南選抜チーム　13－０　新潟選抜チーム
於　西武ドーム

尚、今回の第一回大会は、東日本大震災支援という目的で開催された。野球連盟では、全国大会開催記念のＴシャツを作製し、全国各県の賛同を得て、全国で約1,800枚、360万円売上げをあげることができた。又、前夜祭に於ける収益金（元マリナーズ佐々木投手のオークション）、その他、各方面からの御協力を得て、東北３県（福島、宮城、岩手）の歯科医師会に支援金として、300万円手渡された。

この大会の後援は、日本歯科医師会、日本歯科医師連盟、日本学校歯科医会、国保組合連合会等であった。

（熊歯野球部　井野　健）

訃　報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

鈴木　梓 先生
平成24年９月１日　ご逝去　72歳

- 郡　市　名：熊本市
- 入会年月日：昭和54年３月29日

緒方　健一 先生
平成24年８月26日　ご逝去　61歳

- 郡　市　名：荒尾市
- 入会年月日：昭和59年５月22日

新入会員 NEW

①今もっとも関心のあることは何ですか。
②自分が希望する歯科診療とはどのようなものですか。
③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
④今後の抱負は何ですか。

一般会員

神村　崇悟
（カミムラ　ソウゴ）

山鹿市鹿本町
来民1019-3
あおぞら歯科

①予防歯科（カリオロジー、ペリオドントロジー）
②患者さん１人１人に、必要な時間をかけ、十分に満足して帰っていただける診療です。治療メインではなく、ケアメインの診療室の構築が目標です。
③他の医院さんより突出したものはありませんが、治療するにあたり、口腔内資料を採取し、説明をしっかり行い、双方が納得した上で行うようにしております。また、メンテナンスを充実させております。
④歯科衛生士をさらに２名そろえ、メンテナンスをもっと充実させていきたいと考えております。キュラではなく、ケアの歯科医院を目指していきます。

平島　将臣
（ヒラシマ　マサオミ）

熊本市中央区
大江4-19-20
臣歯科診療所

①対中国、韓国、露西亜の領土問題。（歯科）インプラント治療について。
②どの分野がということもなく全ての分野において、包括的に高い精度の診療でなおかつそれが患者に伝わっているもの。
③患者さん１人１人と密に接する姿勢。病院らしくなく開放感のある院内の雰囲気。
④自己満足に終わることのないよう常に患者さんの目線から説明、診療を行い、広告等ではなく口コミで来院していただける医院作りをしていこうと思います。

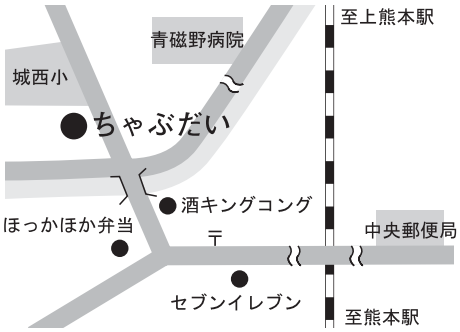
ニューグルメハンター

ちゃぶだい

○所在地
〒860-0073　熊本市西区島崎３丁目6-7
☎096-322-7482
○営業時間
18：00～23：00（ＯＳ22：00）
○店の雰囲気
古民家風のホッと出来る空間
○収容人数
20名
○女将さん紹介
酒好きの美味いもの好きのなんともだしのきいた女将でございます!!
○料理の種類・特徴・おすすめ料理
洋の東西に問わずとにかく美味しいものを作ります。
時間がかかりますが、料理は全て手作りでございます。
素材にもこだわりお肉も国産のものです。
コースは、お客様のご要望により、15：00～位から出来ます。

グリーンカレーも美味しかったです

ごはんものはついてませんが…
ごめんなさい。呑み放題はありません。



会　務　報　告

自　平成24年８月21日
至　平成24年９月23日

H.24.10

所管	日付	摘要	出席
総　務	８月22日	第１回県保健医療推進協議会救急医療専門委員会（熊本テルサ）	中嶋副会長
	23日	中規模県歯科医師会連合会会議（アルカディア市ヶ谷）	浦田会長、小島副会長
	24日	第114回都道府県会長会議（日歯会館）	浦田会長、小島副会長
		第２回選挙管理委員会	福田委員長他全委員、渡辺専務理事、八木常務理事、牛島理事
		第11回警察歯科医会全国大会意見交換会（三重県・四日市市）	小島副会長、矢毛石陸男会員
		第11回警察歯科医会全国大会会長招宴（三重県・四日市市）	浦田会長
	25日	第11回警察歯科医会全国大会（三重県・四日市都ホテル）	浦田会長、小島副会長、矢毛石陸男会員
	27日	第５回理事会 （１）新入会員の承認（２）平成23年度熊本歯科衛生士専門学院会計収入支出決算案 （３）平成24年度育成事業会計収入支出補正予算案　ほか	浦田会長他全役員、伊藤学院長、久々山代議員会議長、荒木代議員会副議長
		第65回九州歯科医学大会第４回実行委員会	浦田会長他全役員、伊藤学院長
	28日	故緒方健一会員（荒尾市）告別式弔辞奉呈（荒尾市）	浦田会長
	29日	第１回日歯歯科保健医療に関する情報戦略ワーキンググループ会議（日歯会館）	渡辺専務理事
	30日	県教育庁との懇談会（熊本市）	浦田会長、小島副会長、渡辺専務理事、八木常務理事、田上・大林・牛島理事、澤田事務局長
		月次監査 ７月末現況監査	片山・西野監事
	９月１日	宮崎歯科技術専門学校創立五十周年記念式典・祝宴（宮崎観光ホテル）	浦田会長
		八代歯会臨時総会懇親会（八代ロイヤルホテル）	中嶋副会長
		石田龍佑先生　瑞宝双光章受章祝賀会（山鹿ニューグランドホテル）	小島副会長
	３日	県救急医療連絡協議会（県医師会館）	牛島理事
	４日	故鈴木梓会員（熊本市）告別式弔辞奉呈（熊本市）	浦田会長
	５日	県・八代市総合防災訓練第２回全体説明会（八代市役所）	澤田事務局長
		第11回常務理事会 （１）熊本県日中協会創立40周年への賛同及び委員就任依頼 （２）臨時代議員会提出の定款改正案の条文の一部修正 （３）臨時代議員会提出の定款施行規則改正案の条文の一部修正　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員、牛島理事
	７日	くま歯キャラバン隊（荒尾市）（荒尾市中央公民館） 受講者：17名	田上理事
	10日	がん患者歯科医療連携事業打合せ （１）10月５日担当者会（２）９月24日運営委員会（３）連携講習	小島副会長、渡辺専務理事、松岡常務理事、田上・松本・牛島理事
	11日	熊本さわやか長寿財団理事会（熊本テルサ）	浦田会長
	13日	第171回日歯代議員会（１日目）（日歯会館）	浦田会長、小島副会長
		第11回会計打合せ 会計規則の見直し	渡辺専務理事、八木常務理事、吉永会計士他１名
	14日	第171回日歯代議員会（２日目）（日歯会館）	浦田会長、小島副会長
		第125回日歯通常総会（日歯会館）	浦田会長、小島副会長
		くま歯キャラバン隊（下益城郡）（ウイング松橋） 受講者：27名	渡辺専務理事、勇常務理事、冨屋理事
	15日	元会長　故宇治壽康先生追悼のひと時（～18時）	
		臨時代議員会 〔議事〕第１号～第７号議案 〔協議〕（１）時局対策（２）その他	久々山議長、荒木副議長他44議員、浦田会長他全役員、伊藤学院長
		臨時総会 〔議事〕第１号～第４号議案 〔協議〕（１）時局対策（２）その他	福嶋議長、中村副議長、浦田会長他全役員、伊藤学院長
	18日	くま歯キャラバン隊（上益城郡）（御船町カルチャーセンター） 受講者：16名	渡辺専務理事、田上理事
	19日	第12回常務理事会 （１）新入会員の承認（２）平成24年度シニア倶楽部社会保険研修会（３）平成24年度シニア倶楽部の運営　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員、牛島理事
	22日	第１回TPP学習会（水前寺共済会館）	渡辺専務理事、牛島理事、澤田事務局長
	23日	渡辺三雄前日歯常務理事の叙勲受章を祝う会（ホテルオークラ東京）	浦田会長
学　術	９月14日	学術委員会（１）10／27九州各県学術担当者会の役割分担 （２）11／11DVDセミナー及び会員発表のDVD教材選定及び役割分担 （３）10／13九州歯科医学大会　ほか	椿理事、添島委員長他６委員
	20日	医療相談 医療面談	小島副会長、岡田委員長
社会保険	８月23日	保険個別指導（ＫＫＲホテル）	反後副委員長、中村悟・金本委員
	25日	ニューフェイス社会保険研修会打合せ （１）９／１研修会の予演会	前田理事、田中委員長他３委員
		社会保険委員会 （１）会員向け発刊物（２）個別指導立会い・相談会 （３）ニューフェイス社保研修会　ほか	勇常務理事、前田理事、田中委員長他９委員

所管	日付	摘要	出席
社会保険	9月1日	ニューフェイス社会保険研修会 受講者：21名	勇常務理事、前田理事、田中委員長他9委員
	5日	社会保険個別相談会 相談者：1名	渡辺副委員長
	6日	社会保険個別相談会（甲佐町） 相談者：1名	野田委員
	7日	レセプト事前チェックセンター 相談者：1名（来館・1名）	前田理事、金本委員
	8日	社会保険個別相談会 相談者：1名	渡辺副委員長他1委員
	11日	社会保険個別相談会（甲佐町） 相談者：1名	渡辺副委員長
	12日	社会保険個別相談会（阿蘇市） 相談者：1名	隈井委員
	13日	保険個別指導（県庁）	田中委員長、清水副委員長、金本委員
	22日	社会保険講演会	浦田会長、中嶋副会長、勇常務理事、前田理事、中村悟委員
地域保健	9月10日	青山製作所熊本工場事業所健診（高森町）	三森康弘会員
		全国健康保険協会熊本支部第1回健康づくり推進協議会（全国健康保険協会熊本支部）	田上理事
	13日	県歯科保健推進会議ワーキング部会（県庁）	田上・大林理事
	18日	青山製作所熊本工場事業所健診（高森町）	三森康弘会員
	22日	子育てすくすくこども博2012歯科相談（至23日）（グランメッセ熊本） 相談者数：90名	川瀬委員長他5委員
		県糖尿病対策推進会議実務者研修会（県医師会館）	小野秀樹会員
広　報	8月23日	広報小委員会 （1）会報9月号・第1回校正	加藤理事、佐藤委員長他2委員
	24日	テレメッセ打合せ （1）9月13日（木）放送分	加藤理事
	30日	広報小委員会 （1）会報9月号・第2回校正	加藤理事、佐藤委員長他1委員
	9月3日	テレメッセ打合せ （1）9月13日（木）放送分	加藤理事、佐藤委員長
	6日	テレメッセ打合せ （1）9月13日（木）放送分	加藤理事、佐藤委員長
	11日	テレメッセ打合せ （1）9月13日（木）放送分	加藤理事
	13日	NHKテレメッセ出演（NHK熊本）	加藤理事
	14日	広報委員会 （1）会報10月号・編集	加藤理事、佐藤委員長他全委員
	15日	臨時代議員会取材	立本副委員長、宮田委員
	20日	8020推進財団「8020」カムカムインタビュー取材対応（山鹿市）	佐藤委員長
学校歯科	8月22日	玉東町歯科研修会（玉東町中央公民館） 保・小・中地域で取り組む8020 ～将来の健康の基礎づくりのために～	大林理事
		学校歯科小委員会 （1）健康指導用スライド作製	大林理事他3委員
	31日	全国学校歯科医協議会シンポジウム打合せ会 シンポジスト：4名、日学歯：4名	浦田会長、宮坂副会長、渡辺専務理事、八木常務理事、大林理事、河原委員長
	9月19日	学校歯科委員会 （1）第76回全国学校歯科保健研究大会熊本ＰＲ用スライド動画試写 （2）5・6年生スライド確認　ほか	大林理事、河原委員長他全委員
	20日	県PTA災害見舞金安全会判定審査委員会（県総合福祉センター）	西野監事
医療対策	8月21日	熊本県警との協議会（熊本市）	浦田会長、小島副会長、渡辺専務理事、冨屋理事、岡田委員長、永松副委員長
	29日	医療相談 紛争事例について弁護士を交えての協議	冨屋理事、犬束委員
	9月5日	医療対策小委員会 （1）九州各県歯科医療安全対策担当者会（2）センター業務従事者対象研修会	冨屋理事、岡田委員長他1委員
	21日	医療対策委員会	冨屋理事、岡田委員長他全委員
センター・介護	8月23日	口腔保健センター施設整備打合せ	松岡常務理事、松本理事
	30日	センターユニット設置に係る業者との打合せ（口腔保健センター）	松岡常務理事
	31日	口腔保健センターカルテ・会計チェック（口腔保健センター）	五島委員
	9月1日	障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業打ち合わせ（阿蘇くんわの里）	松本理事
	4日	口腔保健センター設備整備打合せ	松岡常務理事、松本理事

所管	日付	摘要	出席
センター・介護	13日	障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業ワーキング委員会 （１）９／１くんわの里打合せ報告（２）健診日程・出務者等	松本理事、平井委員長他２委員
	18日	県介護支援専門員更新研修（KKRホテル熊本）	平井委員長
	20日	県介護支援専門員更新研修（KKRホテル熊本）	松本理事
		障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業打ち合わせ（たまきな荘）	松本理事
		熊日新聞社との打合せ	松本理事
		口腔保健センター従事者医療対策研修会 講師：県歯医療対策担当　冨屋理事 参加者：16名	松岡常務理事、松本理事、平井委員長他３委員
	21日	第１回県各圏域地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会（くまもと県民交流会館パレア）	松岡常務理事
		県地域リハビリテーション支援センター研修会（パレアホール）	松岡常務理事
総務・厚生	８月23日	山鹿市健康診断（鹿本郡市医師会館）	
	25日	阿蘇郡市健康診断（阿蘇郡市医師会館）	
		水俣・芦北郡市健康診断（つなぎ文化センター）	
	29日	総務・厚生委員会 （１）九地連の役割分担（２）大規模災害時の対応マニュアル	牛島理事、池嶋委員長他全委員
	９月１日	天草郡市健康診断（天草地域健診センター）	
		人吉市健康診断（人吉市東西コミュニティセンター）	
	３日	熊本市・上益城郡健康診断	
	４日	熊本市・上益城郡健康診断	
	５日	熊本市・上益城郡健康診断	
	６日	熊本市・上益城郡健康診断	
	７日	熊本市・上益城郡健康診断	
	８日	九州各県厚生担当者会（ホテル・レクストン鹿児島）	牛島理事、宮井委員
	12日	熊本市・上益城郡健康診断	
	13日	熊本市・上益城郡健康診断	
学　院	８月25日	第３回学院体験入学（学院校舎） 参加者：18名	
	28日	学院実習指導担当歯科衛生士研修会 歯科衛生士：48名	浦田会長、伊藤学院長他７名
	９月８日	第４回学院体験入学（学院校舎） 参加者：19名	
		全国歯科衛生士教育協議会九州地区会（福岡市）	逢坂副学院長他２名
	14日	学院特別研修 「知っておきたいコミュニケーションエラー」～安心安全な医療を提供するために～ 講師：木尾哲朗　九州歯科大学准教授	
国保組合	８月25日	九歯連役員会（ホテルウェルビューかごしま）	上野副理事長
		全協九州支部幹事会（ホテルウェルビューかごしま）	上野副理事長
		全協九州支部総会（ホテルウェルビューかごしま）	上野副理事長、桑田常務理事
		全協九州支部役職員研修会（ホテルウェルビューかごしま）	上野副理事長、桑田常務理事
	９月12日	全協職員研修会（東京・全国町村会館）	吉川書記

事業課からのご案内

その1

団体定期（歯科医師会専用グループ保険）のご案内

保険期間　平成24年8月1日から1年間（中途加入できます）

★最高「２８００万円」保障！無診査で加入 OK！
★配偶者も１０００万円まで加入 OK！
★１年更新で配当金は加入者へ還元！
★個人保険より団体保険が安い！
★入院保障も１日１５,０００円まで OK！

団体定期保険は歯科医師会が契約者になり保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。是非ご加入下さい！

その2

個人でご加入の保険も保険料納付は団体収納扱いでお願いします!

下記の保険会社と団体収納契約をしておりますので、歯科医師会の口座引落しがご利用できます。
保険料が団体割引でお安くなります。ご加入の保険内容に影響はありません。
手続きは簡単です。事務局が代行します。是非ご利用下さい！

かんぽ生命	第一生命	住友生命
日本生命	T&D ﾌｨﾅﾝｼｬﾙ生命	明治安田生命
朝日生命	富国生命	ｱﾒﾘｶﾝﾌｧﾐﾘｰ生命
ﾒｯﾄﾗｲﾌｱﾘｺ	NKSJひまわり生命	三井生命

＊詳細につきましては 県歯事務局 TEL:096-343-8020 担当　田尻 までご連絡ください

11 行事予定

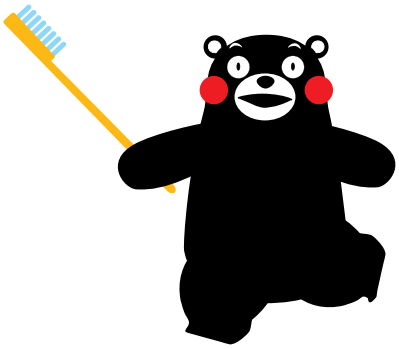
4日（日）	笑顔ヘルCキャンペーン中央イベント
7日（水）	第15回常務理事会
8日（木）	第62回全国学校歯科医協議会
20日（火）	第16回常務理事会
28日（水）	第8回理事会

熊本県ご当地よ坊さん

編集後記

先日、大学の卒後20年記念の同窓会があった。5年ごとに企画されその都度案内は来ていたのだがなかなか都合がつかず、久しぶりの参加である。連休を利用した日程なので昼間に大学の見学会を行い、新しくなった附属病院や学部棟を案内してもらう。近代化し充実した設備に皆感嘆の声を洩らしてした。今の学生が羨ましい。その後教室を開放してもらい同窓生による矯正やインプラントの症例報告を拝聴した。日常の診療に真摯に取り組んでいる姿にこちらも身が引き締まる思いであった。謝恩会には学年の半分以上の60数名が出席し、昔話に花を咲かせた。なにせ20年ぶりである。容姿が著しく変わっているせいか名前が思い出せないような人もチラホラいたがそれもご愛嬌。皆すっかり学生時代に戻って当時を懐しみ、肩を組んで校歌を斉唱し再会を誓って散会した。

今回感じたのは昔の感覚からしたら今の45歳前後ってずっとずっと若いということ。年々時間の流れが早く感じ、歳を取ることに焦りを覚えていた自分をリフレッシュしてくれた。長い人生、頑張るのはまだまだこれから。5年後、私も少しだけ成長してまたみんなに会いに行こう!　（I.K）



くまもとサプライズキャラクター『くまモン』
くまもとサプライズ熊本県許可第1086号

8020 歯からはじめる。笑顔ヘルC

発行日／2012年10月15日発行
発行人／浦田　健二
発行所／社団法人　熊本県歯科医師会　〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4-15
TEL.096-343-8020　FAX.096-343-0623
URL http://www.kuma8020.com
印刷所／コロニー印刷